

# 若者の声



学園祭学友会メンバー（撮影：山口義雄）

## 特集

## 感動と思い出の川崎学園祭

■ 就職支援マナー講座

■ 公開講座

■ 実習に向けて決意新たに！

■ 高大連携開催／学外研修

■ 上海訪問／事務部から

■ ネットワーク委員会報告／キラリ いい顔②

■ インフォメーション



特 集



第33回【10月13日～14日】

# 川崎学園祭

## 感動と思い出の



Photo Gallery

### 学園祭準備 準備に大あわて

(12日・PM)



模擬店で使用するテントの設営風景。みんなで協力しないと完成しません。上手にできたかな。

学科紹介での展示作業。見栄えを考慮しながら、1枚ずつ丁寧に張っていきます。こんな感じでいいかな？  
(臨床検査科)



学科紹介用のポスター作成風景。色画用紙を切り張りし、きれいなポスターへと仕上げます。  
(看護科)



今年の統一テーマは

### 「円(わ) ～ YOU & I ～」

10月13日(土)・14(日)の2日間に渡り、第33回川崎学園祭が行われました。今回の統一テーマは「円(わ)～YOU & I～」です。このテーマは、たくさんの「わ」(円・環・輪など)をもう一度見つめ直し、自分の周りの人々(YOU)と、自分(I)との繋がりの大切さを再確認しよう、という意味が込められています。学園祭は、学友会実行委員が中心になって企画・準備を行い、実行委員以外の多くの学生や教職員も協力・参加しました。たくさんの人達との繋がりをなくして成功させることはできませんでした。学園祭を通じて、感動と思い出がそれぞれの心に刻まれ今回のテーマである「円(わ)」が、一人ひとりの心によりいっそう強い絆として残ったことでしょう。

今回の「特集」では、学園祭での学生の皆さんの活躍ぶりを中心にまとめました。皆さんの生き生きとしたその姿を写真を通してご覧ください。

学内見学・病院内見学



学内での体験学習（放射線技術科）  
希望者に対して、学内の施設見学や体験学習を行いました。また、実習先である川崎医科大学附属病院内の見学も実施しました。



第2回公開講座（5ページを参照）

第5回オープンキャンパス  
(13・14日)

本学を知ろう  
-受験にも役立つ-

小論文個別指導



入試対策講座「小論文」が、10月13日（土）に実施されました。当日は、56名の参加がありました。全体説明後の個別指導では、質問の順番を待つ列までできました。一週間後に控えた特別入試の小論文の試験に向けて、疑問や不安にお答えしました。

進学・相談コーナー



看護科のブースを訪れた高校生

高校生やその保護者を対象に、受験のアドバイスや入学後の学生生活・授業内容などを教員が詳しく説明しました。

2日間でおよそ230人の高校生・保護者が訪れました。受験をお考えの方は是非一度ご参加ください。必ず役に立ちます。



むずかしいですね（臨床検査科）



どのように使用するのですか（臨床工学科）



カプラワールドへようこそ（医療保育科）

学科紹介

(13・14日)

見て・触れて・体験して  
-学科のことを知ろう-

各学科の特徴を分かりやすく伝えるため、展示の内容にはかなり力をいれました。見るだけでなく、実際に触れたり、体験できるコーナーを設けたのも大きな特徴です。参加していただいた方々に少しでも楽しんでいただき、そして貴重な体験ができるよう工夫をこらしました。

参加者には学生がそれぞれ付き添い、展示品の説明や質問に（慣れないながらも）一生懸命に答えました。大学受験を控えた高校生にとっては、授業の内容や学生生活の状況を聞く絶好の機会となったようです。

参加者へのアンケート調査では、「来てよかった」、「授業の内容や仕事の内容をよく理解できた」など、うれしい回答を多数いただきました。

来年も開催し、高校生や地域の方々との交流を深めたいと思っています。是非みなさんご参加ください。



新生児について説明します（看護科）



こ、これは何だ（放射線技術科）



実習の内容は…（介護福祉科）

大ビンゴ大会



じゃんけん大会



カラオケ大会



仮装行列



華麗に舞った



仮装行列は、医科大学、福祉大学、リハビリ学院を交えた合同イベントです。短大の代表として医療保育科の有志が参加しました。毎年恒例のイベントで、仮装だけでなく、踊りなどのパフォーマンスも演じます。今年は、女子高生に扮して華麗な踊りを披露しました。

短大イベント

みんな輝いた

- 13日… 仮装行列  
じゃんけん大会  
カラオケ大会  
軽音楽部 LIVE  
なんでもコンテスト  
大ビンゴ大会
- 14日… ○×クイズ  
アームレスリング  
軽音楽部 LIVE  
異装コンテスト  
ビンゴ大会



パンフレットは、学園祭を楽しむ必需品です。川崎学園祭すべてのイベント開催時刻、場所、内容などが詳細な説明と地図で記載されています。もちろん“無料”です。



こんなの売ってます



ハイ、チーズ



このボリュームでこの安さ・最高



模擬店

(13・14日)

心もお腹も満たされて

— 安い・うまい・感激 —

学園祭には欠かせない模擬店。部活のメンバーやクラスの有志など、さまざまなグループが学園祭においしさの花を、そして笑顔を届けてくれました。講義や実習の忙しい合間を縫って準備を進め、販売前日は夜遅くまで下ごしらえをしました。また、当日の各店舗では、華やかな装飾と個性あふれる接客が繰り広げられました。どのお店も「おいしい」と好評でした。



みんな買いに来てねー

異装コンテスト



ただいまメイク中

Makeup



見てください。この美しい姿を

男性が女性に異装（女装でないところが重要）するコンテスト。どの出場者も美しい?!仕上がりを見せていました。異装をお手伝いしたのは、女子学生のメイク担当者。日頃の自分のメイク技術を駆使して、「美しい女性」へと変身させました。

軽音楽部 LIVE



熱唱の様子

LIVE IN KAWASAKI

青空の下での LIVE。出演者の熱い演奏に、多くの観客が聞き入っていました。きっと、練習の成果を十分に発揮できたことでしょう。



アームレスリング

男女それぞれの熱き戦いが繰り広げられました。参加者の皆さんは、すさまじい闘志と気合いで勝負。観客もつれ大応援でした。特に女性陣の戦いは、「すごかった」の一言です。



女子の部優勝（右の女性）

Ready...Go!



男子の部優勝（左の男性）



学園祭を終えて

今年も、大きな問題もなく学園祭を無事終了することができました。また、自分なりに立てた「短大を盛り上げたい」という目標も達成できたのではないかと考えています。これも、学園祭実行委員をはじめ、各イベントパートナー、スタッフ、そして学生全員が協力し、一つになれたからだと思っています。皆さんありがとうございました。

学園祭実行委員長としての仕事はほぼ終わりました。すでに次期実行委員長も決まっています。まだ任命されたばかりで不安を抱えている様子ですが、自分なりに精一杯がんばってください。応援しています。

来年も短大全体が一丸となり、すばらしい学園祭が行われることを願っています。本当に長い間ありがとうございました。

学園祭実行委員長 橋本武憲

\*平成19年度 学友会役員\*

| 役職名       | 科・年 | 氏名    |
|-----------|-----|-------|
| 委員長       | CW2 | 阪本 渉太 |
| 副委員長      | NS2 | 小林 加奈 |
| 学園祭実行委員長  | NS2 | 橋本 武憲 |
| 学園祭副実行委員長 | NC2 | 滝澤佳央理 |
| 会計        | NS2 | 関谷加菜絵 |
| 会計        | NC2 | 高見 景子 |
| 書記        | CW1 | 中本 真実 |
| 書記        | CW1 | 藤本ゆかり |
| 総務(リーダー)  | CW2 | 平川 貴一 |
| 総務(副リーダー) | NS2 | 広本 翔馬 |

NS：看護科 CW：介護福祉科 NC：医療保育科



テーマ 社会人としての心構えとマナーの実際を身につける

川崎医療福祉大学医療秘書学科 教授 中村健壽先生・准教授 田中伸代先生

医療福祉の専門職を養成する本学では、多くの優秀な卒業生を社会に送り出してきました。そして今なお専門技術教育において実践的で高いレベルを維持し、100%の就職達成率を誇っています。



中村先生の講演

しかし、最近の就職試験では「社会人としての常識」や「コミュニケーション能力」という点により重視されるようになってきました。そこで、これに対応するため、専門性を生かした各学科単位の就職支援に加え、全学科共通の就職支援マナー講座を開くことになりました。

幸い川崎学園には、川崎医療福祉大学医療秘書学科というマナーや接遇なども教育している学科があります。学科長の島名正英先生が全面的な協力体制を組んでくださり、同学科の中村先生、田中先生にご指導いただくことになりました。

まず、九月二十二日、中村先生からマナーはなぜ大切かという内容で「働くものとしての心構え」について講演していただきました。そのあと、十月中旬にかけて、学科ごとに最

上級生が百二十分の実践マナー講座を受けました。主な内容は、履歴書の書き方、実習先や就職先への電話のかけ方、面接時の服装、立ち居振る舞いなどです。また、すでに70%の学生の就職が決まっている看護科では、特別に患者様やほかの医療職への対応などを中心に指導が行われました。ロールプレイもあり、指名された学生は緊張しながらも一生懸命練習していました。先生方は時に厳しい指摘を加えながらも終始笑顔を保ち、熱心に指導してくださいました。

参加した学生からは「自分ではまあまあできると思っていたけれど実は社会では通用しないレベルだとわかった」「社会人に必要なマナーの基本が学べてよかった」という感想が聞かれました。また本学教員からは、大変有益な講座であり、来年はもっと早い時期にこのような講座を開催すべきだという意見や、学生にきめ細かい指導をしていくうえで、教員自身がまずマナー講習を受けたらどうかという声が上がっていました。もちろんマナーについては一回の講座だけで身につくものではありませんが、受講生の意識は確実に高まったと思います。（委員長 名木田恵理子）



電話のかけ方をロールプレイ中

テーマ 注目される心機能検査 〈狭心症・心筋症・不整脈〉

臨床検査科 講師 山本誠一

平成十九年十月十三日（土）十時から、本学体育館第一〇二講義室において、平成十九年度第二回公開講座が開催されました。百名を超える一般の方が参加され、大盛況となりました。



山本先生の講演

講演は、本学臨床検査科講師の山本誠一先生により、「注目される心機能検査―狭心症・心筋症・不整脈とは―」と題して行われました。今回の講演では、心臓の形や働き、様々な心臓の検査法、いろいろな種類の症例について紹介がありました。中でも症例については、「冠攣縮性狭心症（冠動脈の痙攣による狭心症）」や最近災害医療で問題となり注目されている「たこつぼ型心筋症」「突然死の原因のひとつとされる「ブルガダ症候群」の解説が行われ、自動体外式除細動器（AED）の意義などが、先生のご経験に基づいて写真や図を交えてわかりやすく解説されました。先生の検査に対する真摯な姿勢も重なって、参加者は講演の内容に引き込まれていきました。

また、後半は、参加者がより近くで検査を見ることができるよう心臓超音波検査やAED操作等、二次救命救急操作の実演が行われました。そして引き続き、参加者が模型を相手に、二次救命救急操作を体験できる時間が持たれ、多くの方がAED操作などを実際に体験されました。心臓超音波検査のコナリーでは、心臓の動きや血液の流れ方などについて心臓超音波診断装置を用い、講演に続き山本先生が解説しました。AED操作を含む一次救命救急処置の実演のコナリーでは、臨床検査科の教員二名が一次救命救急処置の重要性を強く訴えました。参加者は、食い入るように見ており、その態度と呼応するように活発な質疑応答も繰り返されました。また、体験のコナリーでは多くの方が積極的に参加され、参加者の関心の高さが強く感じられました。

以上のように今回の公開講座は、講演と実演・実技体験という二部構成で実施されました。講演で心臓についての知識や症例を学び、さらに、実演・実技体験では検査の見学や実際に装置に触れることができたという点で、参加者の反応も良く、有意義な公開講座となりました。（臨床検査科 所司陸文）



心臓超音波診断装置を用いての実演

第十九回 全国生涯学習フェスティバル「まなびピア岡山2007」協賛・開催  
平成十九年度 第二回公開講座

テーマ 認知症のケアについて — 認知症のケアと介護保険 —

きこのエスポール病院 病院長 佐々木健先生 介護福祉科講師 守屋真季

第三回公開講座は、介護福祉科が担当しました。今回は、きこのエスポール病院の病院長で、社会福祉法人新生寿会の理事長を兼務している佐々木健先生と本学介護福祉科講師 守屋真季先生による「認知症のケアについて—認知症のケアと介護保険—」の講演を企画しました。



佐々木健先生

まず佐々木先生に「認知症のケアについて」の演題で約九十分、次に介護支援専門員

の業務経験を持つ守屋先生に「介護保険とその利用の方法について」約二十分お話しいただきました。その後、質疑応答を約十分行いました。

佐々木先生は、認知症に対する医療面からの捉え方の変遷を、三期に分けて説明されました。まず、一九八四年からの約五年間が第一期であり、「認知症は悪性の病気」といわれ、認知症に対する理解がなかった時期、次に一九九〇年代が第二期であり、認知症の解明と治療薬の開発、多数収容する方法は良くないというスウェーデンのグループホーム制度に習ってグループホームが乱立した時期、そして、二十一世紀に入ってから現在まで第三期であり、十人を一単位

として利用者が充分に介護を受けられる環境で、介護福祉士とコミユニケーションを密にとりながら、利用者の望むケアを受けられるようになった時期であると説明されました。次に、職員の方々が一人の利用者のために、より良い生活環境を作っていく様子をビデオで紹介されました。その上で、これまで経験してきた普通の生活環境を作るためには、医療的アプローチが減っており、反対に介護・看護・環境面からのアプローチが増えているという現状を教えてください、介護に携わる職員の意識の変革が今後ますます必要であると結ばれました。



守屋講師による講演

今回の講演を広く知っていただくため、短大ホームページへの掲載や日頃お世話になっている福祉施設へのご案内、さらに、卒業教育の一環として過去五年間に卒業した三百七十四名にも通知しました。現在、七十歳以上の高齢者のうち、約百三十万人が認知症と言われています。そ

のような現状の中で認知症に対する関心の高さを物語るかのように、事前の申込受付け者は百二十名余り、当日の申込者も三十名近くとなりました。中には、岡山県北の苫田郡や勝田郡、さらには香川県の三豊市や観音寺市など、遠方からの参加もありました。また、約80%が福祉施設を中心に就職している介護福祉科の卒業生も勤務日程を調整し、二十五名が参加してくれました。介護福祉科の教員は、会場整理や準備に追われあわただしい中、卒業生の介護福祉士としての活躍ぶりを聞くことができました。

以上のように、参加者の総数は、一般および福祉関係者百四十五名、本学教職員十六名、本学介護福祉科在学学生九十三名の計二百五十四名と当初の予想をはるかに超えました。会場は満席のため空調が必要なるほどの盛況ぶり、認知症のケアについての関心の高さに主催者側も改めて驚きました。

(介護福祉科 三宅妙子)



熱心に聞き入る参加者

「数検」グランプリ金賞(団体賞・大学短大部門)受賞

臨床工学科が日本数学検定協会主催の第13回実用数学技能検定「数検」グランプリにおいて、優秀な成績を納めました。その成果を称えられ「数検」グランプリ金賞(団体賞・大学短大部門)が平成19年7月10日付けで同協会から授与されました。



漢字検定に挑戦!

平成19年度第2回日本漢字能力検定が、10月28日(日)本学体育館101講義室において実施されました。77名が2級、45名が準2級、6名が3級にそれぞれ挑戦しました。結果は12月上旬に発表されます。



# 実習に向けて決意新たに！

平成19年度 戴帽式・授章式・実習開始式

## 看護科

九月二十七日

(木)に看護科二年生百二十名の戴帽・授章式が挙行され、主任、副主任から、ナースキヤップ(女子)と学章(男子)が授与されました。



キャップをいただく学生達

## 戴帽・授章式

学生は保護者に見守られ、手に看護の灯火を掲げ、厳かにナイチンゲール誓詞を唱和しました。続いて、守田哲朗学長、藤原恭子岡山県看護協会会長、卒業生の森美恵子氏より、お祝いや励ましの言葉をいただきました。さらに卒業生の先輩から花束が贈呈されると、会場は一段と華やかな雰囲気になりました。最後に、戴帽・授章生代表の四方田香澄さんが、専門職としての誇りと責任感を表明し、看護の道に進む決意を新たにしました。



看護の灯を胸に感激した学生達

## 臨床検査科

## 授章式

「私たちは豊かな人間性と感性を兼ね備え、これからの医療技術を支え、チーム医療に貢献する臨床検査技師になること

を目指します。…」と二年生の代表高井綾子さんに続いて、授章学生全員で誓詞が声高らかに読み上げられ、厳かな雰囲気

の二〇〇号教室が緊張感に包まれました。これは、九月二十日(木)に行なわれた本学科の授章式の一コマ



臨床検査科ワッペン授与式誓詞



誓詞を読みあげる臨床検査科2年生

## 放射線技術科

## ワッペン授章式

九月二十九日(土)にワッペン授章式が挙行されました。はじめに守田哲朗学長から、附属病院での長期実習は、本学の誇るべき特徴であり、準職員として規律を守り、

実戦力を身につけてほしいと式辞が述べられました。続いて、今城吉成主任教授から、二年生六十三名一人ひとりにワッペンが授与されました。また、「激励の言葉」として、卒業生(平成十五年卒)の安田隆史氏(心臓病センター・榊原病院勤務)から、学生時代の体験をもとに、実習の大切さと学び方をアドバイスしていただきました。

## 介護福祉科

## 実習開始式

授章式の後、川崎医科大学放射線医学(治療)教室准教授の平塚純一先生による「がん放射線治療のめざすもの」と題した記念講演が行われました。

介護福祉科では、九月七日(金)二〇〇号教室にて実習開始式を行いました。この実習開始式は、初めての学外実習に臨む本学科一年生を対象に毎年行われていきます。

当日は、橋本祥恵主任教授からの激励、守田哲朗学長からの式辞を頂きました。

その後、学生一人ひとりの名前が読み上げられたあと、代表して中岡緑さんが宣誓を行いました。



代表学生による宣誓



実習開始式を終えて記念撮影

この実習開始式に臨み、岡山県介護福祉士会副会長田中美保子氏からの基調講演を通して、いよいよ迫ってきた学外実習への気持ちを高めていきました。

## 医療保育科

## 実習開始式

六月十九日(火)に、医療保育科二年生七十四名が無事に実習開始式を迎えることができました。梶谷喬主任教授による挨拶、守田哲朗学長による式辞に続き、実習生代表が宣誓を行いました。その後、実習生全員で思いを込めて学歌を斉唱しました。



実習への誓い



決意を新たに



# 高大連携開催報告

高大連携

本学は、平成十四年から県立精研高校、平成十九年から県立和気閑谷高校との間で高大連携教育を行っています。

連携教育の主な内容は、介護福祉科を中心とする教員の出前講義と、高校生による本学の施設を利用した実習や見学などです。今年度はこれまでに精研高校に対しては、学内見学と介護実習を行いました。和気閑谷高校に対しては、出前講義として橋本主任教授による「福祉の仕事について」、岡准教授による「介護事例検討」、守屋講師による「相談援助とケア計画」、本学において学内見学、入浴と移動の介護実習、調理実習を行いました。

今回は、本学で実施された介護実習を受講した高校生と引率の教員の感想をご紹介します。

岡山県立精研高等学校  
三年福祉コース 入江彩香 瀬尾明菜

施設見学では、校内が広く教室数も多く施設・設備が充実しており、ベッドやピアノの数の多さに驚きました。午後からは実際に体験させて頂き、最初の天井走行リフトでは、介助者の体力や精神的な負担も軽減することができ、利用者の方も無理なく乗車できると感じました。次に、ストレッチャーでの移動介助も体験しました。実際に乗ってみると、方向転換の時など目が回るような感覚になり、小さな段差でも怖く

感じました。体験を通じて利用者の気持ちや細かい声かけや細やかな配慮の大切さを実感しました。日頃の授業では体験できない充実した一日でした。ありがとうございました。



チェアインバスを体験 (精研高校)

教諭 赤木美樹

本年度は、訪問講座に本校の家政科三年福祉コース二十名、教員二名が参加させていただきました。福祉コースの生徒は、二年時に訪問介護員二級の資格を取得していますが、高校の乏しい施設・設備を使用している家庭介護を中心とした学習に留まっています。その中で、貴学の充実した施設・設備による介護実技指導を受けることは、より専門的・発展的な学習の機会となっており、生徒達は改めて福祉に関する興味・関心を高めたようです。また、短大の見学や雰囲気味わうことが、進路選択の意識の高揚にもつながっています。最後になりましたが、このような貴重な機会を設定していただいた貴学長先生をはじめ、御指導してくださりました先生方に対し厚くお礼申し上げます。

岡山県立和気閑谷高等学校  
キャリア探求科3年 今脇理絵

はじめに、学生の方やキャンパスの様子を見て雰囲気がいとおく感じました。

看護科では見たことのない学習機器が沢山あり、看護をめざす私にはとても魅力的な学科でした。医療保育科のピアノレッスン



電動車椅子操作中 (和気閑谷高校)

ン室など施設の整備も勉強のためには重要だと思いました。また、介護福祉科の演習では、ここでしかできない体験をたくさんしました。特にリフト体験では、天井走行リフトに乗せてもらうことができ、背中が触れているだけでも安心感があり、利用者の目線になって考えることができました。オープンキャンパスでは見られない学校の様子が見られとてもよい経験になりました。これからの進路決定の参考になりました。ありがとうございました。

福祉科教諭 萩原理恵子

多くの先生方のお世話で、高大連携の訪問講座を受けさせていただきました。当日、生徒は朝から緊張し、着いたとたんに施設の大きさや立派さに圧倒されておりました。また、普段の日ということ、授業を受けている学生の姿を拝見することができました。見学の途中で、本校の卒業生のアドバイスも受けることができました。生徒にとっては進路決定の時期でもあり、たいへん有意義な一日を過ごすことができました。講義をしてくださった先生方をはじめ皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

## 学外研修

平成19年  
10月23日(火)

臨床検査科一・二年

本学科の二年生は阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター 防災未来館」を見学しました。研修では、震災を経験された方の体験談を聴き、シアターで地震発生時の崩壊するビルや高速道路の様子を再現映像とともに体感し、ドキュメンタリー映像を通して復興していく街の様子を観ました。震災の経験を継承し、教訓を生かしていくことの大切さを感じながら、命の尊さや生きることの素晴らしさについて考えるよい機会になりました。



ボランティアの方から体験談を聞いている1年生

二年生は、シスメックス加古川工場およびシスメックスソリューションセンターを見学、センターでは「トレーサビリティと不確かさ」と題した講義を実施していただきました。工場では、臨床検査の現場で使用される血球計測機器などの機器類が組み立てられる様子を間近で見学し、3D画面を見ながらの組み立てや自動で動く資材運送ロボット(ビートル)に驚きを隠せませんでした。



2年生学外研修 (シスメックスにて)

学生にとって大きな成長を遂げている企業の見学は意義深く、臨床検査を改めて見つめるよい機会になりました。

# 上海訪問

看護科  
合田 友美

本学と友好提携を結んでいる上海職工医学院への訪問は、今回で八回目を迎えます。今年は、八月二十日から二十四日までの五日間、看護科二、三年生十四名と教職員三名の計十七名が上海を訪問しました。到着した上海浦東国際空港では、上海職工医学院の余劍珍副院長をはじめ教職員、学生の皆さんの熱烈的な歓迎を受け、その後、心温まる歓迎会や盛大な歓迎式を催していただきました。

二日目の上海職工医学院の見学では、学習環境、学習システムなどについて質問が飛び交い、多くの情報交換ができました。中でも、たくさんの人体標本が展示してある教室が特に印象的で、常に本物を見て学ぶことのできる恵まれた環境に関心が集まりました。

三日目には、松江省にある交通大学付属第一病院を見学しました。この病院は、病床数千六百床、緑化率40%以上を誇る



上海職工医学院看護学実習室にて（余劍珍副院長から説明を受けている学生たち）

## 中国から二一ハオ！！

来年4月、看護科に入学する予定の黄さんと陸さんです。現在は聴講生として日本語の勉強に励んでいます。

近代的な病院で、ホテルのような広々とした美しさと充実した設備が素晴らしく、さらに、ゆとりある看護師の勤務体制に感激しました。その他、滞在中はテレビ塔や豫園、上海博物館、朱家角などを観光し、上海の歴史と文化に触れることができました。また、最終日の歓送会では、日本から持参した抹茶と羊羹を試食していただきながら、日本の食文化を紹介しました。

今回の上海訪問では、見学、交流を通して、互いを尊重しながら相互の国の歴史や文化、看護を取り巻く環境などについて理解を深め合うことができたと思います。このように意義深い訪問になったことを報告し、すばらしい機会を与えてくださった皆様に深く感謝致します。

### 黄 潔

HUANG JIE



【出身】中華人民共和国 上海市  
【経歴】上海市衛生学校卒業  
【趣味】民族舞踏、音楽、旅行、グルメ  
【本学の第一印象】初めて川崎医療短期大学の校門をくぐって感じたのは、生活や勉強する環境がとても気持ち良いです。生活の設備が整って、学科と科目の分類が細かくて先生方も優しいです。私はこれから多くの有益な知識と先進的な技術を学び、たくさんの人と出会って、一つひとつの体験を大切にしながら、勉強を一生懸命頑張りたいと思います。  
【メッセージ】来日から今まで、先生方や舎監さんや寮母さんいろいろなお世話をしていただき、日本の生活にだんだん慣れてきました。これからもっと勉強に励み、日本での留学を充実したものになりたいと思います。将来それを活かし、中国と日本の架け橋になり、双方の友好的な国交を守るため、自分なりに力を尽くしたいと思えます。

### 陸培紅

LU PEIHONG



【出身】中華人民共和国 上海市  
【経歴】上海市衛生学校卒業  
【趣味】旅行、編物  
【本学の第一印象】川崎医療短期大学は、たくさん木がある学園です。鳥の声が聞こえます。毎日、青空と茂る木に近づいています。気持ちいいですね。この環境で勉強し生活するのは本当に楽しいことです。これからは一生懸命頑張ります。  
【メッセージ】川崎医療短期大学は、上海でインターネットで見たことがあり、また、先生方からも聞いたことがありました。確かに、良い学校ですね。立派な学校だと感じました。先生方はとても優しいし、いつも微笑みを浮かべています。みんなから色々なお世話をしていただいています。まだ聞きたいことがたくさんあります。よろしくお願います。



松江省にある近代的な交通大学付属第一病院を見学しました。

## 事務部から

かおりゆかしく  
梅咲く園に



短大教務課  
日名 弥生

学歌「若きいのち」の歌詞に「かおりゆかしく梅咲く園に」というフレーズがあるのをご存知でしょうか。

学校の東門入口から学生玄関あたりまでの坂道の両側には梅の木が植えられています。どのくらいの方が気づいているでしょうか。実は私も川崎医療短期大学の卒業生ですが、就職して母校に勤務するようになるまで気づきませんでした。

早春には花を咲かせ、実がなると梅の実採りです。毎年六月上旬、各学科の先生方にも協力いただき、事務部総出で行います。医療保育科の学生さんにお手伝いをお願いしたこともありませ

梅の花が終わると、桜の花で庭園はまさに「桜色」に染まります。そのほかにもキャンパス内では、様々な木や花が四季折々の姿を見せてくれます。オープンキャンパスに参加された保護者の方から「緑が多いきれいな所ですね」と言っていたこともあります。

学生玄関の前には、卒業生から寄付されたテーブルや椅子も用意されています。学生の皆さんは、授業や試験など忙しいことと思います。でも時には、校舎から一歩出て、短大キャンパスの自然を感じてみてはいかがでしょうか。

ネットワーク委員会アンケート結果報告

学内情報ネットワーク管理運用委員会 委員長 阿部利則

学内情報ネットワーク管理運用委員会では、学内におけるコンピュータ利用環境改善の参考資料を得るため、平成十八年度の在学生ほぼ全員（九百八十二人）を対象に平成十八年十月にアンケート調査を実施しました。質問事項は、学内におけるコンピュータの利用状況、所有状況等の五項目で、学科ごとに集計しました。なお、臨床検査科については全員ノート型パソコンを所有し、教室と学生ホールで自分のパソコンを利用できる環境にあるという状況のもとで今回のアンケート調査を実施しました。

① パソコン操作・ソフトの利用状況

ホームページ閲覧と文章作成が多く、次いでパワーポイント、表計算の順になりました。学科間の差はなく、教科の課題・卒論等のノート・レポート作成のために利用していると思われる。

② パソコン利用状況

授業以外のパソコン利用頻度は、（ほぼ毎日、週二〜三回、月二〜三回、利用しない）の項目に対して、全学科では月二〜三回の利用が49%と最も多く、臨床検査科では週二〜三回の利用が47%となりました。

パソコン利用場所は、全体的には情報教育室が最も多く、臨床検査科では利用環境にある場所を均等に利用している結果となりました。

③ パソコン所有の有無

ノート型パソコンの所有率は69%、そのうち学内でインターネットを利用したことがある学生は25%でした。学内でインターネットを利用したことがない学生では、必要がない52%、使い方が分らない16%、環境がない12%という回答結果でした。

④ 学内でインターネット利用希望場所

教室が63%、学生ホール30%となり、多くの学生が教室でのインターネット利用を希望していることが分かります。

⑤ 寮生の自室でインターネット利用希望

必要が80%、あれば利用するが14%で、寮自室でのインターネット利用を熱望していることが分かります。

今回のアンケート結果から、情報教育室に利用場所を限られた学生と、利用環境が整っている臨床検査科学生との利用頻度の違い・利用場所等の比較、また、パソコンを所有しているものの使えない学生の存在などにより、全学共通の利用環境へ改善していく必要があることが改めて分かりました。同時に、パソコン利用の必要性を感じる情報教育を推進していく必要もあると考えています。また、今後も継続してアンケート調査を実施し、コンピュータ利用環境整備と情報教育推進の参考にしたいと考えています。

頑張ってます！

庶務課 榎田見一さん



本学の隠れた匠、榎田見一さんをご紹介します。本学用務員としての三年間に、備品等の修理はもちろん、数々の便利グッズやアイデア作品の製作・取付けをしていただきました。匠のおかげで、外注にかかる多額の経費が削減されています。作品すべては廃材などが利用され、地球環境に優しいリサイクル品ばかりで、いつも職員みんなが驚かされています。今回は、それらの作品の一部をご紹介します。

本学での記念すべき第一号は、一斗缶で作った「チリトリ(写真①)」です。お店で売っているような、ただのチリトリではありません。溝の中に溜まった落ち葉やゴミを回収するため、溝の幅に合わせたサイズで作られています。また、軽くて丈夫で大容量、しかも専用の持ち手付きで、他の用務員さんからも絶賛されています。



写真① チリトリ

二つ目は、「長机運搬台車(写真②)」です。今ある台車の持ち手に「榎田スペシヤル」をセッティングすることにより、本学の狭いエレベータであっても、長机を立てたまま一度に六脚くらいは簡単に運べるようにしたアイデア作品です。このように榎

短大の隠れた匠

田さんは、リサイクルだけでなく、便利さとアイデアを盛り込んだ作品を手がけています。「こんな物があれば便利だな」と思ったとき、私達は「榎田工務店に依頼しよう」とよく言っています。



写真② 長机運搬台車

気になる匠の前職ですが、なんとJR西日本の社員でした。電車の電気メンテナンスに長年携わっていた経験から道具の使い方を会得され、後にJRの学校で電車の構造を教える先生もされた腕前の持ち主です(ちなみに電車の運転もされてきました)。常日頃から「この材料で何かできないか?」「これを作ったら便利になるのでは?」とアイデアやひらめきを探求しています。また、休みの日にはホームセンターや百貨店の調度品を見てセンスや技術を盗むなど、非常に研究熱心な方です。私達も、勉強や仕事の面で見習わなければならぬと感じるものがあります。



自信作のキャスター付2段BOX

榎田さん、短大の環境・生活をよりグレードアップさせていくためにも、これからもすばらしい作品を期待しております。

(庶務課 阿藤孝子)

## 平成20年度 AO入試・特別入試・推薦入試結果

平成20年度AO入試・特別入試・推薦入試の結果及び一般入試の日程は次のとおりです。  
なお、入試日程の詳細は学生募集要項、または、本学ホームページでご確認ください。

### 主要行事 (1月~3月)

|    |   |
|----|---|
| 1月 | 4日 仕事始め<br>一般入試前期願書受付開始 (~23日)  |
|    | 11日 第32回医療福祉教養講座  |
|    | 15日 看護科1年基礎看護学実習I (~26日)  |
|    | 26日 医療保育科保育実習成果発表会<br>30日 一般入試前期  |
| 2月 | 6日 一般入試前期合格発表<br>25日 一般入試後期願書受付開始 (~3月8日)   |
|    | 6日 在学生健康診断 (~8日)<br>14日 一般入試後期<br>15日 卒業証書・学位記授与式<br>17日 一般入試後期合格発表<br>19日 放射線技術科2年臨床実習終了 |

### AO入試

試験日：9月29日(土) 合格発表：10月4日(木)

|      | 看護科 | 介護福祉科 | 医療保育科 | 計   |
|------|-----|-------|-------|-----|
| 募集人員 | 3   | 3     | 3     | 9   |
| 志願者数 | 18  | 10    | 25    | 53  |
| 志願倍率 | 6.0 | 3.3   | 8.3   | 5.9 |
| 合格者数 | 14  | 10    | 24    | 48  |

### 特別入試

試験日：10月20日(土) 合格発表：10月25日(木)

|      | 看護科    | 臨床検査科  | 放射線技術科 | 介護福祉科  | 医療保育科  | 計        |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|
| 募集人員 | 40 (3) | 10 (2) | 7 (2)  | 32 (3) | 17 (1) | 106 (11) |
| 志願者数 | 49 (0) | 30 (1) | 35 (3) | 12 (0) | 16 (0) | 142 (4)  |
| 志願倍率 | 1.2    | 3.0    | 5.0    | 0.4    | 0.9    | 1.3      |
| 合格者数 | 45     | 13 (1) | 12 (0) | 9      | 14     | 93 (1)   |

( ) : 社会人枠、内数

### 推薦入試

試験日：11月10日(土) 合格発表：11月16日(金)

|      | 看護科 |     | 臨床検査科 |     | 放射線技術科 |     | 介護福祉科 |     | 医療保育科 |     | 計   |    |
|------|-----|-----|-------|-----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----|----|
|      | 指定校 | 公募  | 指定校   | 公募  | 指定校    | 公募  | 指定校   | 公募  | 指定校   | 公募  | 指定校 | 公募 |
| 募集人員 | 16  | 16  | 10    | 10  | 10     | 26  | 6     | 18  | 9     | 60  | 51  |    |
| 志願者数 | 8   | 20  | 37    | 45  | 11     | 3   | 7     | 11  | 26    | 116 |     |    |
| 志願倍率 | 0.5 | 1.3 | 3.7   | 4.5 | 0.4    | 0.5 | 0.4   | 1.2 | 0.4   | 2.3 |     |    |
| 合格者数 | 8   | 17  | 14    | 10  | 11     | 2   | 7     | 9   | 26    | 52  |     |    |

### 平成20年度一般(前期・後期)入試日程

| 試験区分 | 願書受付期間                              | 試験日      | 合格発表             | 入学手続期間                      | 試験内容                                   |
|------|-------------------------------------|----------|------------------|-----------------------------|--|
| 一般前期 | 平成20年<br>1月4日(金)~1月23日(水)<br>【消印有効】 | 1月30日(水) | 2月6日(水)<br>午前9時  | 2月13日(水)~2月20日(水)<br>【消印有効】 | 学力試験2科目・面接                             |
| 一般後期 | 平成20年<br>2月25日(月)~3月8日(土)<br>【消印有効】 | 3月14日(金) | 3月17日(月)<br>午後5時 | 3月19日(水)~3月25日(火)<br>【必着】   | 【A方式】大学入試センター試験から2科目・面接<br>【B方式】小論文・面接 |

### 学生玄関の施錠システムの変更についてのお知らせ

2階学生玄関にセキュリティ強化のため一方向ドアを設置しました。それに伴い11月1日(木)から平日18時以降、学生玄関からは入ることができなくなりました。ただし、出るとは19時50分までできます。なお、土曜日については16時20分以降入退出ともできません。  
また、平日18時以降に止むを得ず校舎内に入る場合は、1階玄関から受付に申し出て入ってください。

### 国家試験日程について

| 区分              | 試験期日          | 合格者の発表        |
|-----------------|---------------|---------------|
| 第97回 看護師国家試験    | 平成20年2月24日(日) | 3月26日(水) 午後2時 |
| 第54回 臨床検査技師国家試験 | 平成20年2月29日(金) | 4月4日(金) 午後2時  |
| 第60回 診療放射線技師試験  | 平成20年2月28日(木) | 4月4日(金) 午後2時  |
| 第21回 臨床工学技士国家試験 | 平成20年3月2日(日)  | 3月25日(火) 午後2時 |

### 川崎医療短期大学広報誌「若きいのち」(59号)

平成19年12月発行

編集発行：広報誌編集委員会

名木田恵理子 (一般教養・委員長)  
藤原忠昭 (庶務課・副委員長)  
橋本美香 (一般教養) 影本妙子 (看護科)  
近未久美子 (臨床検査科) 天野貴司 (放射線技術科)  
立花博之 (臨床工学科) 河邊聡子 (介護福祉科)  
中井 靖 (医療保育科) 重政有里 (庶務課・書記)

写真協力：二葉写真館

印刷：友野印刷株式会社

皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒701-0194

倉敷市松島316 川崎医療短期大学 広報誌編集委員会

電話：086-464-1032 (庶務課)

Eメール：shomu@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ

http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/home/

編集後記

本学の様子をお伝えする本誌は、毎号三人の委員を中心に広報誌編集委員全員で校正しております。年に四回発行の本誌は、在学生や保護者はもちろん、実習先施設、本学への進学を希望する高校生の皆さんや学園関係者などたくさんの方に読んでいただいているため、どなたが目にもわかりやすく、楽しめる内容をお届けできるように編集作業を進めています。また、より新しい情報をお伝えするため、いつも印刷直前まで紙面の構成を組み替えています。

今回は、学生が目ごころとは違った輝きを見せる場であり、感動と思いの出の宝庫でもある「川崎学園祭」を特集しました。学園祭の様子を、紙面を通して感じていただくため、写真中心に構成を考え、たくさん学生のいきいきとした表情をご紹介します。ぜひ、自分の写っている写真を探してみてください。学園祭期間中、庶務課の山口義雄氏のご協力をいただき、編集委員と共にたくさんの方の写真を撮影しました。素敵な写真ばかりで、それを掲載するか嬉しい悲鳴がありました。

毎号、短期間の原稿依頼にもかかわらず、多くの方が快く執筆を引き受けてくださっています。紙面をお借りして深く感謝いたします。これからも引き続き広報誌に暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(河邊聡子)